広報 かじき

No.235
昭和50年 2

発行／加治木町役場・編集／総務課文書係

今年は町内で２６７人が成人式を迎えた（福祉センターで）

■メモ　人口／20,194　男／9,513　女／10,681　世帯／6,498　（50年1月1日現在）

吉福新君と塩屋洋子さんが抱負発表

新成人二百六十七人（町内）

晴れて大人の仲間入り

新しく大人の仲間入りをする町内の成人者二百六十七人（男百二十四人・女百四十三人）を祝い、励ます町の成人式は、一月十五日の「成人の日」に町福祉センター大ホールで行われました。

式には、成人者該当の約半数にあたる百三十三人（男四十二・女九十一人）が参加、はなやぐ中にも厳しゅくに式が進められました

寺崎・町教育長の式辞のあと、東町長が「皆さんが、かくも立派に、たくましく、たのもしく成人になられたことを心から祝福するとともに、新しい人生のかど出にあたり、はなむけの言葉を申し上げたい—①報恩感謝の心を忘れないこと②忍耐、何ごとにも耐え得る人間になれ③信義を重んずること④物を大切にする時代が来た、限りある資源を大切に有効に使うこと⑤次代を背負うのは成人になった若者たちであること—など十分に自覚して、与えられた権利を行使し、自分自身の知性をみがき無限の可能性に挑戦していただきたい—」と祝辞を贈りました。

はなやぎのなかにも厳しゅくに式が進められる＝（成人式場で）

つづいて園田・町教育委員長から、成人者代表の北原香代子さんに記念樹「さざんか」の苗木が贈呈され、参加者全員に一本ずつ贈られました。

このあと新成人の吉福新君＝鹿大生＝と塩屋洋子さん＝加治木警察署勤務＝の二人が、新成人抱負発表を行いました（内容・別掲）

式終了後、センター前で男女代表と東町長、岩田町議長によってクロガネモチ一本が記念植樹されました。このクロガネモチは、式に参加した成人者たちが一人二百円ずつ出し合って購入、思い出の記念樹としたものです。

成人者たちは、再びホールに入り全員で記念撮影や茶話会などでお互いの船出を祝い合いました。

町教育委員会では、来年の成人式の参考資料とするため、成人者からアンケートをとりました。参加者のうち百七人（男二六、女五七、無記入二四人）が

＝成人者のアンケートから＝

15日がよい……50％

アンケートに答えています。

その結果①式の期日は一月十五日が五〇％②行事の時間は午前中でよい—九一％③式だけでよい—五八％④服装は規制しない—五九％となっています。

問　成人式の期日はいつにしたらよいですか。

▽一月十五日がよい　五〇・四％
▽一月四日がよい　六・四％
▽一月五日がよい　四〇・二％
▽その他　三・〇％

問　成人式行事の時間はどの程度がよいですか。

▽午前中でよい　九一・六％
▽午前午後にわたってする　七・五％
▽その他　〇・九％

問　成人式の行事のもち方についてどうしたらよいか。

▽式だけでよい　五八・九％
▽式後講演をきく　三・七％
▽式後レクリエーションをする　一七・八％
▽式後茶話会をする　一九・六％

問　成人式の女子の服装についてどうした方がよいですか。

▽和服がよい　二七・一％
▽洋服がよい　八・四％
▽本人の自由にまかせ規制しない　五九・八％
▽その他　四・七％

私の抱負　わたしのほうふ

澄んだ目と心で二十歳の初選挙

知事・県議選挙4月13日(日)　町議選挙4月27日(日)

自分自身を見失しなわず前進したい

（西汐入）
塩屋洋子さん

新たな決意とともに、恵まれた環境のもとで迎えることのできたこの成人の日。これはひとえに、私をとりまくまわりのかたがたの暖かい愛情によって、はぐくまれてきたおかげだと思い、心より感謝しております。

幼い頃、二十歳ともなれば、大人の考え方ができ、人間として、もっともっと成長しているだろうなどと、ばく然と思っていたものです。が、意に反して、いくつになっても人に頼ること、またちょっとしたつまづき、悩みのため世・の中で一番つらく苦しいのは自分なんだなどという甘えから抜け出せない私でした。

そんな私も、実社会に出て今年で三年目。二十歳というと選挙権が与えられるのをはじめとして、責任ある言動、行動が必要となります。この〝責任〟という言葉の持つ意味の重さは、きょうのこの時よりも、社会の一員となった初日の方が、はるかに強く感じられたようです。自分の社会に占めている位置とでもいうのでしょうか何かしら四方から強く押しかかってきそうな大きな不安。それを抱いたものです。

人間関係で悩むなどという事はないのですが、仕事がら多勢の人の「声」というものを通じて、いろいろ考えさせられます。自分では何気なくしゃべっている言葉が相手にとってどんな影響を与えるか…ひとつひとつ取り上げると、きりがありませんが、生きて行くためには、人間関係を円満にしてゆかねばなりません。素直な気持ち、相手の立場に立って物事を考えることのできる人間になりたい

いま、大人としての新しい道を歩み始めたばかりの私。社会を見渡すと、異常な物価高、インフレ社会福祉……その他、様々なできた事、今まであまり関心をもたなかった事もいつかは自分の問題となってきます。人生の先輩であるかたがたから励ましの言葉など承りましたが、成人したひとりの女性として、どういう場面に立たされても自分自身を見失わないようにこの社会になくてはならない人になるために、一歩ずつでも前進してゆくことをお誓いいたしまして私の抱負の発表といたします。

勇気と情熱をもって進みたい

（西汐入）
吉福新君

今日ここに成人式を迎える自分にとって、一人前の大人になること、それは、まさに今まで味わったことのない期待と不安の入りまじった緊張感そのものであり、責任感そのものであります。

二十歳になれば選挙権も与えられ、法的にも、社会的にも、大人として扱われるようになります。つまり、一人の社会人として大きな責任を負わされるのです。私たちは今日のこの感激を一生忘れることなく、これからの人生の荒波をどのようにして乗り越えて行くか、ここで真剣に考えてみなければならないと思います。

かえりみれば、長いような短いような二十年でありましたが、楽しかったこと、苦しかったこと、いろいろな思い出がはっきりと思い出されます。二十年の間、大切に育ててくれた親の愛、熱心に御指導くださった先生方のご恩、また共に学び励まし合った多くの級友たちを忘れることはできません

大きく変わりつつある今日の社会情勢。そのさなかに、成人式を迎えるわれわれに寄せられる期待課せられる責任はまことに大きいものであると思います。

これから先、どのような苦しいこと、つらいことがあろうとも、人生の落ご者にならないように勇気と情熱をもって将来の目標に向かって、つき進んでいきたいと思います。そして、よき社会建設のためにあらゆる努力をしていく覚悟であります。皆さまがた先輩諸氏の御指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

ここに成人式を迎えるにあたり私の抱負といたします。

五人の協力者に農林大臣表彰

町内・辺川の大宮路五男さんら五人は、このほど農林大臣表彰をうけました。

これは九州農政局鹿児島統計情報事務所が行った「四十九年度農林統計調査」の業務協力者でよく貢献されたとして贈られたもので受賞者は次のかたがたです。

▽農林大臣表彰

大宮路五男、大宮路魁、小宮路福吉、中野親雄、大宮路忍

表彰おめでとうございます

生活保護世帯に年越しそば贈る

町内の生活保護世帯に毎年年越そばを贈りつづけている人があります。

新町の梅橋平覚さん(五三)食堂経営＝がこの人で、昭和四十年の十二月から贈りつづけて今回で十年目になります。

昨年末も八十七世帯分の年越そばを生活保護世帯に贈りこれらの人たちから「元気で年が越せました」と大変感謝されています。

梅橋さんは四十五年五月に町社会福祉協議会表彰、四十六年八月に郡社会福祉大会表彰を受けています。

婦人会だより

加治木ガス料金値上げ
公聴会で反対意見陳述

暮れの十二月二十五日、町福祉センターで「加治木ガス料金値上げ申請」についての公聴会が開かれました。

これは加治木ガス会社が、通産局に申請していましたガス料金の値上げについて、一般消費者の声を十分聞いたうえで、改訂の参考にしなければ、片手落ちになるということで行われたものです。

原料の値上がりや労務費の高騰などで、会社の苦しい事情もわからないわけではありませんが、私ども家庭の主婦としては、食生活の基本的なものである燃料費の値上げを黙って手をこまねいて見ているわけには参りません。

そこで婦人会ならびに生活学校運営委員会の中で、この問題を取りあげて話し合いをしました。そして、台所からの声をぜひ通産局に聞いていただきたいと、反対の意見を述べることとなりました。

▽陳述者、婦人会代表＝堤治子生活学校代表＝永田フヂ。

主な反対意見として①加治木ガスは四十九年四月二十五日付で値上げをしたばかりなのに、八カ月あまりの間に再値上げとは納得できない―②会社の申請の内容について、もっと検討の余地があるのではないか―などです。

公聴会には、賛成者として新川靖博氏＝加治木ガス（株）代表取締役＝と、宝蔵正人氏＝岩原西＝の両氏が出席され、意見を述べられました。

◇　◇　◇

通産局としては、これらの賛成反対の陳述を持ち帰り、あらゆる角度から検討された結果、次のような内容の認可となったようです。

それは、平均値上げ申請五二・五％に対して三六・九％の認可。これを最も需要家の多い六立方メートル以上の使用（加治木ガス使用者全体の約八〇％余りの家庭が該当）で見てみますと、申請六七・六％に対して四七・五％の認可となっています。

値上げを認められたことは残念ですが、四十九年四月における値上げ申請の際、ほとんど全面的に認められた事実とくらべて、今回は大分、減額（申請に対しての認可率は約七〇％）されているようです。

さまざまな条件があったこともさることながら、私たち婦人会、生活学校の意見も取り入れられてこの数字が出たものと思います。これも大きな成果の一つではないでしょうか。

ムダな電気は消しましょう

テレビのスイッチを入れると画面がすぐに飛び出す型には、いつもブラウン管を予熱するため4～6ワットくらいの電力が消費されています。

おやすみのとき、外出されるときなどは、コンセントを抜くなどしますと、一カ月で約四キロワットアワーの節約になります。

小さな指揮者

小ちゃな坊やが、とくいそうに自衛隊の音楽隊を指揮している。町消防団の出初め式場で起こったハプニング。坊やの指揮で曲のメロディもやわらぎ、緊張し続けた消防団員や来賓もホッとひと息（柳田の佐宗太郎君＝４つ）

句会

煮凝に言葉すくなし遠き雷　鶴田　耕
掻きあぐる指間に白し木葉髪　伊丹　靖博
安息日聞きのがさじと春の歌　中山　待香
ひ孫抱く事長からず賀状よむ　林　玄洋
候鳥迎ういちょう僅かの葉のこし　永田　禾陽
春やまた晩齢の旅重ねをり　松永　愛子
虎落笛は隋性で生きた過去の挽歌　塩満　篤夫
初夢の叶はぬ望みかなひけり　田代　俊一
凍てし夜の老母の寝息確かむる　恒吉　斗南
火の島も薄化粧して山眠る　横山　江南
初旅や昔ながらの宿構え　井之上透山

香典返しを寄付

香典お返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　錦江町　前田シゲ（夫喜次郎）
一万円　須　崎　谷山ナツエ（夫栄助）
一万円　岩原東　有川二三世（母トク）
一万円　布　越　脇　富子（父利助）
一万円　辺川下　小宮路盛助（妻花江）
一万円　徳　永　三好ハツエ（夫長吉）
一万円　里ノ上　前田新吉（母馬場シゲマツ）
五千円　本　町　古閑ミキ（夫政喜）
一万五千円　朝日町　前田安男（父浅吉）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　岩　原　東秀行（結婚記念）

一月二十日までのご寄付を掲載しました。

＝ご寄贈＝

町社会福祉協議会へ本町・桑幡歯科医院からアンマ機一台が寄贈されました。同協議会では町福祉センターの老人室に備えつけました。ご利用ください。

話題あれこれ

柁城小の校舎増築
普通四教室が完成

町が柁城小（三原良即校長・児童数九百五人）に増築中の校舎、鉄筋二階（一部平屋）建て＝延べ三百四十二平方㍍が、このほど完成しました。

普通教室四教室で総工費二千五百四十万円。とくに防火設備として、発生した煙の量によって防火戸が自動的に閉まるようになっているのが特色―と同校長のご自慢

待望の新教室からは、二年生の元気な声が聞こえています。同校では一年生が木造教室で勉強中。

横山さんが町長賞
新春の俳句大会で

町主催の第一回新春俳句大会は一月十九日、郷土館で開き三十人が参加、選者は鹿大米谷静二教授

天（町長賞）　横山　江南
布施うけて寒行太鼓ぴしと打つ
地（議長賞）　井之上透山
病む妻のほのかにまとう密柑の香
人（教育長賞）　恒吉　斗南
掌を赤くしてまだ雪に飽かずゐる
佳作一位　渡辺　水鶏
雪ふるや火は真実の相をもつ
佳作二位　柳田　山人
芹を摘む子を呼ぶ母の京なまり
佳作三位　吉留美喜子
やっ子だこかける幼子のあとにあり
選者特選　井之上透山
時雨るるや柵倚る牛のほつほつと
選者特選・天賞句　横山　江南
同　人賞句　恒吉　斗南

親子で剣道の試合
気は若いが大惨敗

加治木剣道スポーツ少年団では一月十九日、鏡開きを兼ねて第一回冬期練成大会と親子試合を加治木中の屋体で開き、終日家族そろって「剣道の一日」を楽しんだ。

親子試合には十五人のパパが出場。かねてけい古には厳しいパパも、はかまや防具の着け方に四苦八苦。気は若いが、防具の重さや子どもの速攻に息と足が続かず防戦一手でタジタジ。なかには張切りすぎて甲手をつけずに出場するなど相次ぐパパの珍プレーに会場は終始大爆笑。結果は惨敗に惨敗

午後は、初心者や低・高学年に分かれて寄贈のトロフィ争奪戦を展開、父兄の目を楽しませた。終了後お母さんたち手づくりのぜんざいで全員が空腹を満たした。

共同歳末募金のご報告

昨年十月から、皆さまがたにご協力いただきました「共同募金」と年末の「歳末たすけ合い募金」の結果をご報告して、お礼といたします。ご協力ありがとうございました。

―共同募金の内訳―

戸別募金　七七一、四六一円
法人募金　五九、〇〇〇円
街頭募金　五、七六五円
学校・職域募金　一三、五一九円
合計　八十四万九千七百四十五円

県共同募金会へ納入しました。

―歳末たすけ合い募金―

戸別募金　二九八、四六五円
一般寄付金　四二、一〇七円
前年度繰越金　七六、二一五円
合計　四十一万六千七百八十七円

□配分先の内訳

生活困難世帯　一六四、四〇〇円
寝たっきりの人　四五、六〇〇円
身よりのない人　三、六〇〇円
肢体不自由児　八、四〇〇円
精神薄弱児　二、四〇〇円
不遇児　五、四〇〇円
老人ホーム　二三、五〇〇円
長期療養患者　五八、〇〇〇円
重症心身病棟　一五、〇〇〇円
特老「望岳園」　一〇、〇〇〇円
送料・消耗品　四、二六五円
合計　三十四万五百六十五円

配分後にご寄付いただいた七万六千二百二十二円は五十年度へ繰越しとしました。

□特志寄付者

後野フジ（新富町）山口キミ（鞍掛）坂元重子（中福良）末永英次（宮田ケ平）宮脇基利（小田倉）川上トラ（諏訪町）町未亡人会堀切シズエ（諏訪町）大迫スミ（本町）木村重忠（岩原西）柿元蝶（田中）堂森写真館（港町）嶺元政範（不詳）竜門小児童会、柁城小児童会、加治木キリスト教会、宇部興産KK、役場職員一同。

前町長さんの随筆におもう

今年も町民のたのしみの一つである「広報かじき」を拝見し、特に前町長さんの「大変お世話になりました」の記事に感激し、胸のつまるものを感じました。と共に前町長さんの随筆のないのが淋しく感じられました。

毎号、私は随筆を一番たのしみに読ましてもらいました。町長さんの人がらの暖かいこと、文才のあることに感心していました。私どものような凡人にも、わかりやすく理解できるように一つ一つの物語を書いてくださいました。

それであってこそ豊かな町政ができたのだと、今となって感謝しています。前町長さんに「ご苦労さまでした」とお礼と共に、随筆のない淋しさを一町民としてしたためました。広報かじき愛読者より＝（原文のまま）

検察審査員の候補者 35人決まる

[redacted]

町選挙管理委員会では、検察審査員の候補者を選定する「くじ」を一月七日行い、次のかたがたが候補者として決まりました。

この候補者の中から、四つの群で決められた日に再度「くじ」が行われ、審査員と補充員が決定されます。

検察審査会＝検察審査会は、国民の中から選ばれた十一人の検察審査員が、検察官の仕事のやり方を審査する制度です。わが国では検察官だけが被疑者を起訴するかどうかを決めることができます。また裁判所は、原則として検察官が起訴した事件についてだけ裁判をすることができるたてまえになっています。

ところが、検察官が起訴しなければならない（正しい）事件を、まちがって不起訴にしてしまったならば、裁判所も犯人を処罰することができないという不合理なことになります。つまり、検察官が事件を不起訴にしたことが正しかったかどうか――事件の捜査が不十分であったり、事実の判断を誤ったりなどしていないか――を審査するのが検察審査会の仕事です

検察官の仕事のやり方を審査し一般国民の良識を反映させる制度といえます。この審査会の一員を選ぶための候補者名を、このほど決めたものです。検察審査員に選ばれた人は、自分の良心にしたがって正しい――と思った判断をすればよいのです。

＝検察審査員の候補者名＝

〔第一群〕樗木春男（上嶽）南靖子（西汐入）神園ツマ（辺川中）松本栄吉（南汐入）法元ツギ（田中）崎山静（西反土）久徳恭子（岩原東）福永スミ（東諏訪）福島美津江（垂ノ口）

〔第二群〕松田逸郎（垂ノ口）佐藤敏子（蒲生田）仮屋園武男（西反土）内村敏幸（永原）村山清治（港町）山口信子（今町）福ケ迫カズ子（中福良）浜田是真子（岩原東）市来清子（萩原）

〔第三群〕今吉ミヨ子（毛上）神園チエ子（田中）高橋ハギ（岩原東）梅木鈴子（桃木野）表和義（萩原）松田タカエ（東汐入）木佐貫秋治（下浜）平地スミエ（西反土）山下シヅ（楠原）

〔第四群〕川内シヅエ（川内）津曲俊雄（岩原東）松木サヨ子（岩原西）金城ミチ子（天神）柴田護（吉原）猪八重実寿雄（向江町）今吉享（曲田）服部逸美（端山）

新しい民生・児童委員 決まる
気軽にご相談を

本町の民生委員・児童委員二十三人が昨年十一月末の任期満了に伴い、改選（再任十八新任五人）されました。

民生委員は福祉に関する、すべての相談に応じ、町民の福祉向上に日夜励んでいます。どうぞ気軽にご相談ください。

委員名（電話番号）と担当地区は次のとおりです。

竹内親男（②二六〇二）＝反土黒川、今町、混沙門、港町
樽木キクエ（③三四七二）＝蒲生田、西町、仲町、江湖、垂ノ口
田中　実（②二二一二）＝端山、新町、下新道、新富団地
石原　孝（②二七五七）＝柳田、於里、萩原
池端ヒデ（③二四七八）＝竹下、田中、川原、西反土全
前田幹子（③二八九一、二九一二）＝小陣、天神、諏訪全
富岡アヤ（③三二〇八）＝札立、城、口ノ町、内原田、高井田、春日団地、蔵王団地
池畑守夫（②二〇六九）＝塩入全向江町
坂元重子（③六三四四）＝楠園、新中、西ノ原、小鳥、中福良、上木田
木場フヂエ（③五二六三）＝岩原みろく、江口団地
杉田　平（③三二〇七）＝須崎、浜村、豊町
猪俣定雄（③三三三一）＝茶碗屋毛上、伊部野
宮脇基利（③〇七二八…次男宅）布越、小田倉、高崎、岩穴口、徳永、井手向
山口鉄雄（③五三〇三）＝石野、屋所、東木、赤谷、鞍掛永山
吉田重義（③八三〇二呼出）＝迫山下純男（③八五〇五）＝上川内川内、宮田ケ原、地久里新開、市来原
榎谷重記（③六四三一）＝提水流永原、隈原、丸岡
後藤重春（③六五六五）＝菖蒲谷曲田、桑迫、桃木野
外村豊二（③六二一二）＝ヒナバ嶽
大宮路任（③六二六一）＝市野々市野、鶴原、道風、辺川
谷口三郎（③七二〇二）＝日木山黒川、吉原、里
坂元秀義（③五四三九）＝長谷、中野
榎田静雄（③七四二二）＝楠原、弓削

放水演習や消防ポンプ操法を披ろう

団員や一般など 九十二人を表彰

町消防団の出初め式

恒例の町消防団の出初め式は一月十一日午前十時から、加治木高校グラウンドで行われました。

午前九時、式に先だって全団員が、国分自衛隊音楽隊のマーチにのって市中行進を行い、町消防団の出初めと防火思想の喚起を町民に呼びかけました。

十時から式典に移り、町長や来賓による観閲や消防機具など点検のあと、小型動力ポンプ六台（指揮者・東輝男）自動車ポンプ三台（指揮者・竹内敬一郎）による消防ポンプ操法がグラウンドで展開されました。

出初め式の見せ場ともいわれる放水演習は、消防車のサイレンを合図にいっせいに「放水始めっ」小型動力ポンプの快音とともに十数条の水柱が、ホースの筒先から冬空に向かって高く立ち登り、観覧者の目をひきつけていました。

分列行進のあと、団員を前にして東町長は「団員諸君は消防人として本町二万有余の町民の生命、身体、財産を火災や災害から守るきわめて重大な使命感のもとに、昨年はよく活動され、感謝にたえない。あいにく九件の火災が発生したが、沈着、機敏に日ごろのたゆまぬ訓練の結果をこの火災に表わしたものであり、これらの活動は町民の信頼度をいやがうえにも高めたことと思う。近年、ガス、油など熱源の多量化と新建築材等に起因する近代火災に対処するには、深い教養とより高度の技術を必要とする。今後の防火思想の普及と万事に備えての諸君の使命は重大なものがある。

町としても消防機材の整備、充実を図り、報われることが小さい団員諸君の処偶等についても関係機関とともに検討し、改善をすすめていきたい。今日ここに新たな決意をもって、消防人としてさらに努力、精進されることを望みたい―」と式辞を述べました。

このあと、団員や一般の消防関係功労者九十二人の表彰が行われました。当日の受彰者は次のかたがたです。おめでとうございます

県消防協会総裁表彰

▽功績章＝有馬清晴　沢崎菊男　安楽忠　㊀是枝義輝　桐原広志

精績章＝鹿屋春男　東輝男　池田三郎　寺師栄　畠中博　岩田辰二　福薗克美

▽勤続章20年＝沢崎菊男　池田三郎　蔵満洋一　蔵満実

県知事表彰

▽勤続章10～15年＝立山経弘　犬童政武　中園茂　小屋敷勝　分部省吾　日高利　楠元洋一　郡山貢　橋口喬　杉田秀清　西村徳江口昇　吉村次男　三好之男　坂元正夫　大村清美　岩穴口治男　竹崎久実　吉田進　満留則男　山口正人　桃木野透　内村清美　向江素　大宮路五男　宮内時男　上猶広見　鹿島一人　中野次男

姶良伊佐支部長表彰

吉村次男　浦川盛哉　岩下美晴　榎谷貞則　立山経弘　渡辺周一　福崎藤男　川床利夫

町長表彰

緒方馨　向江素　宮内時男　池田弘隆　増田新　有馬義則　遠矢義一　東川内肇　久木田政則

勤続表彰

▽30年＝中原久男

▽20年＝東光義　芋ケ迫正男　寺師栄　川村吉弘

▽15年＝吉村次男　三好之男　立山経弘　楠元洋一　橋口喬

▽10年＝鶴春美　外村秋男　長谷正治　山口静男　中野次男

無火災表彰

▽4年＝辺川分団

▽2年＝中野分団

団長表彰

綿打次男　富安龍司　森田正人　宇都和義　郡山和弘　坂元利夫　榎谷則良

町長感謝状

前田重夫　湯川イト　脇和夫

町消防後援会会長感謝状

石原明（元団員）辺川分団地区消防後援会　小山田分団地区消防後援会

サイレンを合図にいっせいに「放水始めっ」

出初め式

（出初め式の由来）

明暦三年（一六五七年）一月十八日の火災によって江戸の大半が失われた。

この火災は通称「ふりそで火事」ということで知られている。

そこで徳川幕府は、徹底的な防火都市建設に踏み切ったが、さらに消防組織の重大性を痛感し、翌明暦四年（七月に改元されて万治元年となる）の九月、これまでの大名火消のほかに幕府直属の旗本がひきいる消防組織をこしらえ、四千石以上の旗本をもって編成した。これを「定火消」といった。

この四人の火消役を頭にした定火消四隊が、翌万治二年（一六五九年）一月四日上野東照宮前において出初めの儀を行ったのが最初で、その後、毎年これを行い、現在に続いている。

おしらせ

無鉛ガソリン生産で 農林業機械にも影響

二月から、鉛を添加しないレギュラーガソリンが生産されます。これは「農林業機械」のエンジンにも関係がありますので、農林省は関係者に次の点に注意してほしいと呼びかけています。

二月から無鉛ガソリン発売

石油業界では昭和五十年二月からアルキル鉛を添加しないレギュラーガソリンの生産を開始することにしています。それからほどなくガソリンスタンドで、無鉛化されたレギュラーガソリンが一般に販売されることになります。（プレミアムガソリンについては、従来どおり加鉛したものが販売されます）

農林業機械にも関係

このようなガソリンの無鉛化は自動車ばかりでなく「農林業機械」のエンジンにも関係してきます。

現在、使用中の農林業機械のうち「二条田植機」以外の四サイクル・ガソリンエンジンを動力源とする耕うん機、ティラー、四条植田植機、バインダー、防除機、チェンソー、土壌積込機などについては、無鉛ガソリンのみを使用すると、排気弁座が急速に摩耗し、はなはだしい場合はエンストしますので注意してください。

2対1の割合で混合を

このため、この種の農林業機械については、無鉛化されたレギュラーガソリン2に対してプレミアムガソリンをおおむね1の割合で混合して使用することが必要です

ガソリンスタンドで給油をうけるさいに、このことを申し出てください。（潤滑油混合ガソリンを使用することになっているガソリンエンジンは、2サイクルですから無鉛化されたレギュラーガソリンに従来どおり潤滑油を混合して使用してください）

農協などへ相談を

ガソリンの無鉛化にともない、今後、無鉛化ガソリンを使用できる農林業機械が販売されることになりますが、これらの農林業機械には、無鉛ガソリンが使用できることを明示したステッカーが貼付されることになります。購入のさいは注意してください。

ガソリン無鉛化に当たっては、疑問な点や機械の使用に不審な点がありましたら、もよりの農協や農業機械販売店にご相談ください。給油については、ガソリンスタンドでも相談に応じてくれます。

受講のすすめ

＝二級技能士通信講座＝

雇用促進事業団の川内総合高等職業訓練所では「二級技能士・通信講座」の受講をすすめています

この講座は、生産現場で働く技能者の皆さんのために設けられた学習の場です。

◇募集科　機械、建築、左官、印刷、木工関係の二十九科。

◇受験資格　実務経験があればだれでも受講できる。学歴、年齢は問わない。

◇訓練期間　一カ年（随時受付）

◇受講料　四千円

◇特典　修了者には、二級技能士の国家検定・学科試験が免除されるので好適の講座です。

◇問い合わせ　川内総合高等職業訓練校（〒八九五―〇二・川内市高城町二五二六番地）

電話〇九九六二②二一二一(代)

看護職員を募集

＝国立療養所・南九州病院＝

町内の木田にある国立療養所・南九州病院では、看護婦、准看護婦、看護助手（パート可）を募集しています。

就業希望者は、同院庶務課人事係（町内木田一八八二）電話②二一二一番へお問い合わせください。

土地の使用状況が変ったら 申告を

提出は二月二十八日までに

昭和四十八年度の地方税法の一部改正によって、土地の固定資産税は「住宅用地であるか、それ以外であるか」によって異なります。

そこで、住宅用地か否かの判定を正確に行うためには、皆さんがたの申告が必要となります

町では、土地の使用状況を変更された場合は、お手数ですが『住宅用地異動申告書』で、その旨申告していただくようお願いします。

申告していただく方

四十九年一月二日から五十年一月一日までの間に、次のどれかに該当する使用状況の変更をされた土地の所有者に限ります。

①…「その他」または「併用住宅」から「専用住宅」に変更した

②…「専用住宅」または「その他」から「併用住宅」に変更した

③…「専用住宅」または「併用住宅」から「その他」に変更した

用語の意味①「専用住宅」＝もっぱら引続き居住する家屋の敷地

②「併用住宅」＝一戸の家屋が住居用とその他の用に使用される建物の敷地③「その他」＝①および②以外で、商店やデパート、工場、倉庫、事務所などの敷地でまた、家屋がない場合でも住宅建築予定地、駐車場、私道も含みます。

申告の期限

受付期限は二月二十八日（金）

申告がない場合異動がなかったものとして処理します。該当するかたは早めに申告して下さい

受付場所は町役場・税務課（課税第二係）です。

二月の在宅医

2日	神田橋医院	②二〇二四
9日	平山医院	②二四六八
11日	玉利病院	②二三二八
16日	壱岐医院	②二二二二
23日	池田医院	②二二二〇

たばこは
町内のお店で
買いましょう